

## 平成13年度 設計・施工一括方式 発注案件一覧

番号	整備局	事務所	工事名	工事内容	工事の特徴	始期	終期	事業分類
1	東北	青森工事事務所	中央地区歩道融雪設備工事	歩道融雪設備、操作制御設備、他	東北地方整備局道路雪対策技術検討会において、自然エネルギーを利用した道路消融雪施設部門で公募により決定した大地の熱と太陽熱を利用する消融雪施設工事。	H13.10.20	H14.03.29	道路工事
2	東北	青森工事事務所	久栗坂トンネル道路融雪設備工事	道路融雪施設1式、電源設備1式、他	東北地方整備局道路雪対策技術検討会において、自然エネルギーを利用した道路消融雪施設部門で公募により決定した熱源ハイブリット型ヒートポンプを用いた地中熱利用融雪工事。	H13.10.20	H14.03.25	道路工事
3	東北	仙台工事事務所	西道路管理用監視システム設置工事	監視カメラ更新1式、画像処理装置設置1式、他	西道路管理用監視システムとは、道路上で発生する突発的な事象をCCTVカメラで収集した画像を解析及び判定し、状況を外部装置に提供するものである。設計条件に対する適用性、システム・機能等の拡張性、等各施工会社固有の技術を活用することが適切な工事。	H14.03.28	H14.11.29	道路工事
4	関東	江戸川工事事務所	外郭放水路大落古利根川連絡トンネル新設工事	立坑一基、内径6m、L=300mの泥水シールドトンネルの施工	本工事は、内径8.5m以上の洪水流入立坑及び内径6m以上、L=300mの洪水排水トンネルを施工するもので、昨今の施工会社の保有する設計・施工ノウハウを求める工事。	H13.10.10	H17.3.31	トンネル工事
5	関東	千葉国道工事事務所	神明～蘇我共同溝シールド工事	換気立坑一基、内径4.9m、L=1,717mの泥水シールドトンネルの施工	本工事は、換気立坑1基及び内径4.9m以上、L=1,717mのトンネルを施工するもので、昨今の施工会社の保有する設計・施工ノウハウを求める工事。	H14.3.26	H16.3.31	トンネル工事
6	近畿	大戸川ダム工事事務所	大津信楽線24号橋工事	橋台工2基、橋脚工1式、橋梁上部工L=385m	橋脚基礎付近に破碎帯を有し、工区全体が自然公園第三種地区であることから、土地の改変を最小とするとともに、将来管理者への維持管理等負担を軽減する観点から、設計施工の提案を受ける工事。	H.13.11.9	H17.3.10	ダム工事
7	近畿	大阪国道工事事務所	南阪奈道路大黒トンネル工事	トンネル工 L=181m、坑門坑2箇所、道路改良 L=460m、橋梁下部工4基	土かぶり薄、地表部の文化財への影響のため沈下量の制約がある工事。さらに、近接トンネルに対する影響を考慮する必要がある工事。	H.14.3.26	H15.3.10	道路工事
8	近畿	紀南工事事務所	奥瀬道路葛川橋工事	橋台工2基、橋脚工1式、橋梁上部工 L=165m	自然環境への配慮が必要な橋梁工事であり、地形の改変を最小限度にする必要がある工事。	H14.3.16	H15.12.19	道路工事
9	近畿	福知山工事事務所	弘法川緊急排水ポンプ設備新設工事	総排水量5m <sup>3</sup> /s、弘法川樋門箇所外、荒河P、法川P及びその他の流域で運用可能な可搬式ポンプ設備工事1式	ポンプ形式・台数の組み合わせや運用性・操作性等について、ポンプ製作メーカーの技術提案を受けることにより、効果的な内水排除とコスト縮減を実現する工事。	H13.9.29	H14.3.10	河川工事
10	近畿	和歌山工事事務所	24号栗栖跨道橋補修工事	床版補修 L=40m、橋台補修 N=2基、橋脚補修 N=18基	技術開発の著しい、塩害に対する対策技術・工法についての提案を受ける工事。	H14.3.30	H15.3.10	道路工事
11	近畿	営繕部	近畿管区警察学校射撃場移動標的設備工事	移動標的設備 1式	特殊な設備であり、メーカー独自の設計・施工技術の提案を受ける工事。	H14.3.5	H15.3.10	営繕工事
12	中国	鳥取工事事務所	志戸坂峠道路毛谷高架橋工事	工事延長L=298m、橋梁下部工 5基、橋梁上部工 1橋、基礎工 4基	河川、国道、JRトンネルを交差する急峻な地形条件のもとで、50mを超える高橋脚と最大支間長も100m程度の工事であり、架設の施工等に高度の技術を要する工事。	H14.3.14	H17.3.31	道路工事
13	四国	松山工事事務所	平成12年度井門護岸根継工事	護岸延長L=566m、基礎胴木、ブロック張、根固工	本工事は、想定洗掘深が4mと大きく、背後地では上水道の取水等が盛んに行われている等特殊な作業環境下での施工となる工事。本河川における今後の根継対策工の標準工法を確立する必要から、コスト、品質、工期短縮の短縮を図るもの。	H13.8.10	H14.3.29	護岸
14	四国	松山工事事務所	平成12年度新川内橋上部工事	2径間連続鋼桁橋 L=78.0m	本橋梁は、表川に架かるL=78mの橋梁であり、現国道沿での架設となるため、特殊な条件下での施工となる工事。また、平成13年度末の供用を予定していたため、短期間での製作・架設が求められており、設計期間短縮、コスト縮減、工期短縮を図ることを目的としたもの。	H13.5.8	H14.1.31	鋼橋上部